



# 日本ーオセアニア間の定期貨物船(Trans Future 5)を利用する大気海洋二酸化炭素モニタリング

## 1. 識別情報

名称	日本ーオセアニア間の定期貨物船(Trans Future 5)を利用する大気海洋二酸化炭素モニタリング
略称	TF5
メタデータID	TF520230727065224-DIAS20221121113753-ja

## 2. 問合せ先

### 2.1 データセットに関する問合せ先

名前	野尻 幸宏
組織名	国立研究開発法人国立環境研究所・地球環境研究センター
住所	日本, 305-8506, 茨城県, つくば市, 小野川 16-2
電話番号	+81-29-850-2499
電子メールアドレス	nojiri@nies.go.jp

### 2.2 プロジェクトに関する問合せ先

#### 2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

## 3. ドキュメント作成者

名前	野尻 幸宏
組織名	国立研究開発法人国立環境研究所・地球環境研究センター
電子メールアドレス	nojiri@nies.go.jp

## 4. データ作成者

名前	野尻 幸宏
組織名	国立研究開発法人国立環境研究所・地球環境研究センター

---

電子メールアドレス	nojiri@nies.go.jp
-----------	-------------------

## 5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

## 6. データ作成年月日

publication : 2012-02-13

## 7. データセット概要

### 7.1 序論

日本-オセアニア間の定期貨物船(Trans Future 5)を利用する大気海洋二酸化炭素モニタリングデータ。船の航行情報、下層大気と表層海洋の二酸化炭素データ、大気(気温・湿度・風速・日射量・気圧)と海洋(水温・塩分)の基本的な変数を含む。大気のみ観測は2005年11月以降。大気と海洋の観測は2006年6月以降。

### 7.2 トピックカテゴリ(ISO19139)

oceans

### 7.3 時間情報

開始日	2005-11-11
終了日	2011-09-10
時間分解能	10minute

### 7.4 地理的範囲

北限緯度	35
西限経度	130
東限経度	180
南限緯度	-45

### 7.5 グリッド

### 7.6 地理情報を識別する名称

### 7.7 キーワード

#### 7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Oceans > Ocean Chemistry > Carbon Dioxide	GCMD_science
place	Western Pacific	No_Dictionary

theme	Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Carbon and Hydrocarbon Compounds > Carbon Dioxide, Atmosphere > Atmospheric Pressure > Sea Level Pressure	GCMD_science
theme	In Situ Ocean-based Platforms > SHIPS	GCMD_platform
theme	二酸化炭素, CO2分圧, CO2, 貨物船, 海洋表層, 洋上大気CO2	No_Dictionary

## 7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

### 7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS &gt; Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

## 7.8 データセットに関するオンライン情報

: <http://tf5.soop.jp/>

DIASデータファイルダウンロードサイト : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:192>

## 7.9 データ周辺情報

## 7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

## 8. 系譜情報

## 9. 品質等

## 10. 利用規約

### 10.1 データ提供者によるデータ利用規約

このデータセットは国立環境研究所・地球環境研究センターが地球環境モニタリング事業の一環として収集したものです。データ入手方法については必ず国立環境研究所地球環境研究センターにお問い合わせ下さい。データ利用者は、利用に際し、データ保有者と調整が必要です。目的に応じてデータ保有者を共著者にすることを求められます。

### 10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

#### 10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

---

## 11. ライセンス

## 12. 謝辞の記載方法

### 12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

### 12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

#### 12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上発表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

## 13. 参考文献